

ウォーターニュースあまがさき

第22号 / 平成16年3月

発行: 尼崎市水道局

〒660-0051 尼崎市東七松町2丁目4-16 TEL:06(6489)7402
ホームページ <http://www.suidou.amagasaki.hyogo.jp>

水道水って安全なの!?

水道局では、「安全で、安心して飲める水」を皆様にお届けするという重要な使命を果たすために、法律で定められた厳しい水質基準よりもはるかに安全な水「高度浄水処理水」をお届けしています。

しかし、一方で市販のミネラルウォーター類や浄水器などの普及は着実に増加しています。これらの普及の要因の一つに、水道水に対する不信感や不安感があることは間違いのないところです。そこで、今回は水道水の安全性についてお知らせすることにしました。

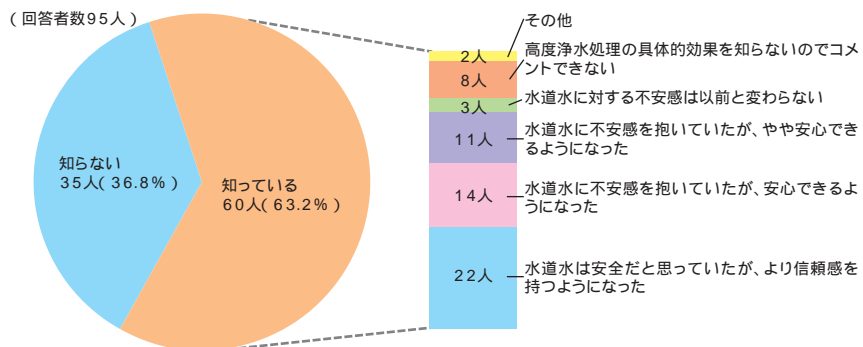
ネットモニターアンケートから見る水道の水質

尼崎市では、今年度、市政の様々な課題について、インターネットによるモニターアンケートを実施してきました。その中の一つとして今年1月に「水道の水質」を取り上げました。その結果の一部をご紹介します。



Q 尼崎市の水道水は、平成12年7月からオゾン処理と活性炭処理を用いた高度浄水処理という最新鋭の浄水方法によりつくられた水が市内全域に送られています。あなたは、水道水が高度浄水処理されていることをご存じですか。

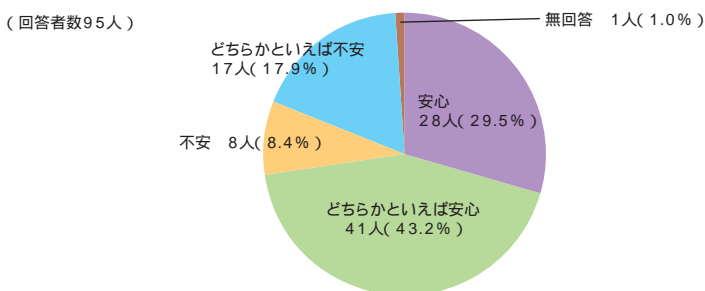
また、尼崎市の水道水が高度浄水処理水になったことについて、どのように思っておられますか。



尼崎市の水道水が高度浄水処理であることをご存じの人は約6割にとどまっています。

「知っている」と回答された60人のうち、47人の方が程度の差はあるものの、以前よりも安心できるようになったというプラスの評価をされています。

Q あなたは、水道水の安全性についてどのように思われていますか。



7割強の方が安心側、3割弱の方が不安側の回答をされています。

「安心」、「どちらかといえば安心」の主な回答理由(複数回答)

水道水は、飲用に適するよう浄化され、消毒されているから(40人)

尼崎市の水道水は高度浄水処理がされており、質のよい水だから(29人)

「不安」、「どちらかといえば不安」の主な回答理由(複数回答)

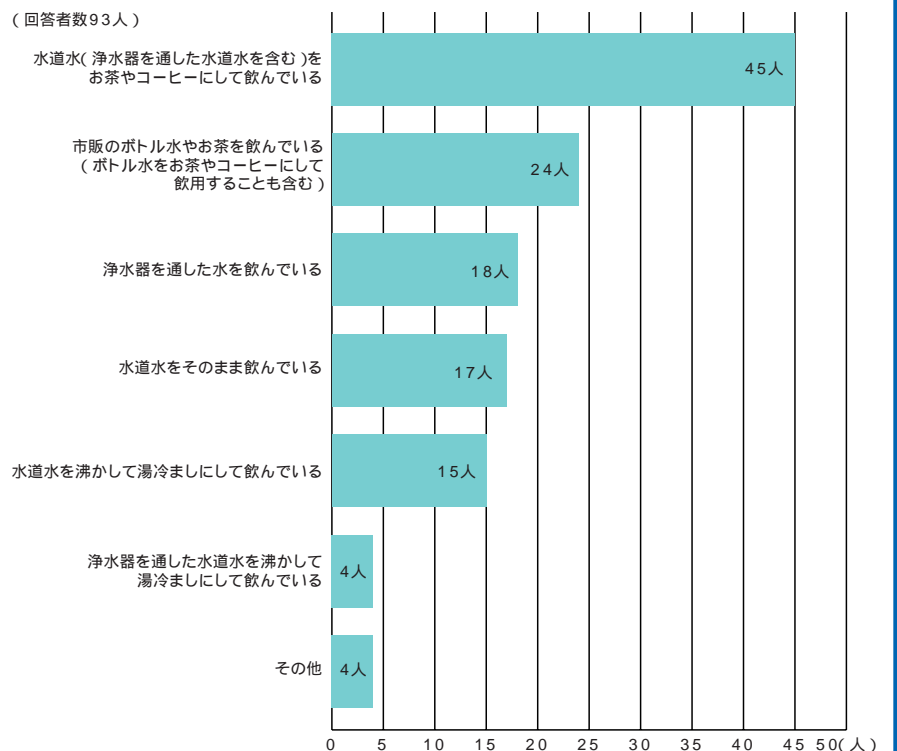
水道水に含まれている消毒用の塩素が有害ではないかと不安(16人)

水道水の原料となっている河川の汚れが浄水処理できれいになっているのか不安(15人)

マンションなどの受水槽の管理(清掃や水質検査)が適切にされているのか不安(10人)

発ガン性があるといわれているトリハロメタンなどの物質が水道水に含まれていることが不安(9人)

Q あなたは、ご自宅にいるとき飲用水として、おもに何を飲んでいますか。(複数回答)



「水道水(浄水器を通した水道水を含む)をお茶やコーヒーにして飲んでいる」が多数を占めました(45人)。

最近の生活習慣では、飲用水として水道水をそのまま飲むということは少なくなってきていますので、この結果はその傾向を反映したものと思われます。

「市販のボトル水」を利用しているのは、回答者93人のうち24人で、約4人に1人の方が利用しています。

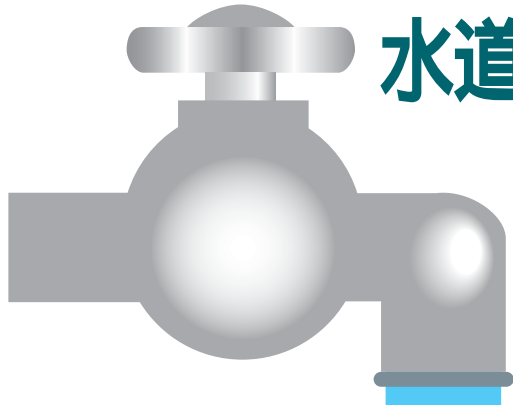
飲用として水道水を使わず、「市販のボトル水やお茶」だけを利用している人は10人(10.8%でした。)

「市販のボトル水やお茶」を利用していると回答された方は24人でしたが、複数回答ですので、例えば「市販のボトル水やお茶」と「水道水をお茶やコーヒーにして飲んでいる」という方もおられます。そこで、回答内容を詳しく見ますと、飲用として「市販のボトル水やお茶」だけを利用している方は10人でした。

「市販のボトル水」を炊飯や煮炊きなど飲用以外に利用している方は10人(10.8%)でした。

アンケートの詳細な内容は、水道局ホームページ(<http://www.suidou.amagasaki.hyogo.jp>)をご覧ください。

↓ 水道水とボトルウォーターの水質はそれほど違うのでしょうか。答えは裏面をご覧ください。 ↓



水道水とボトルウォーターを比較しました

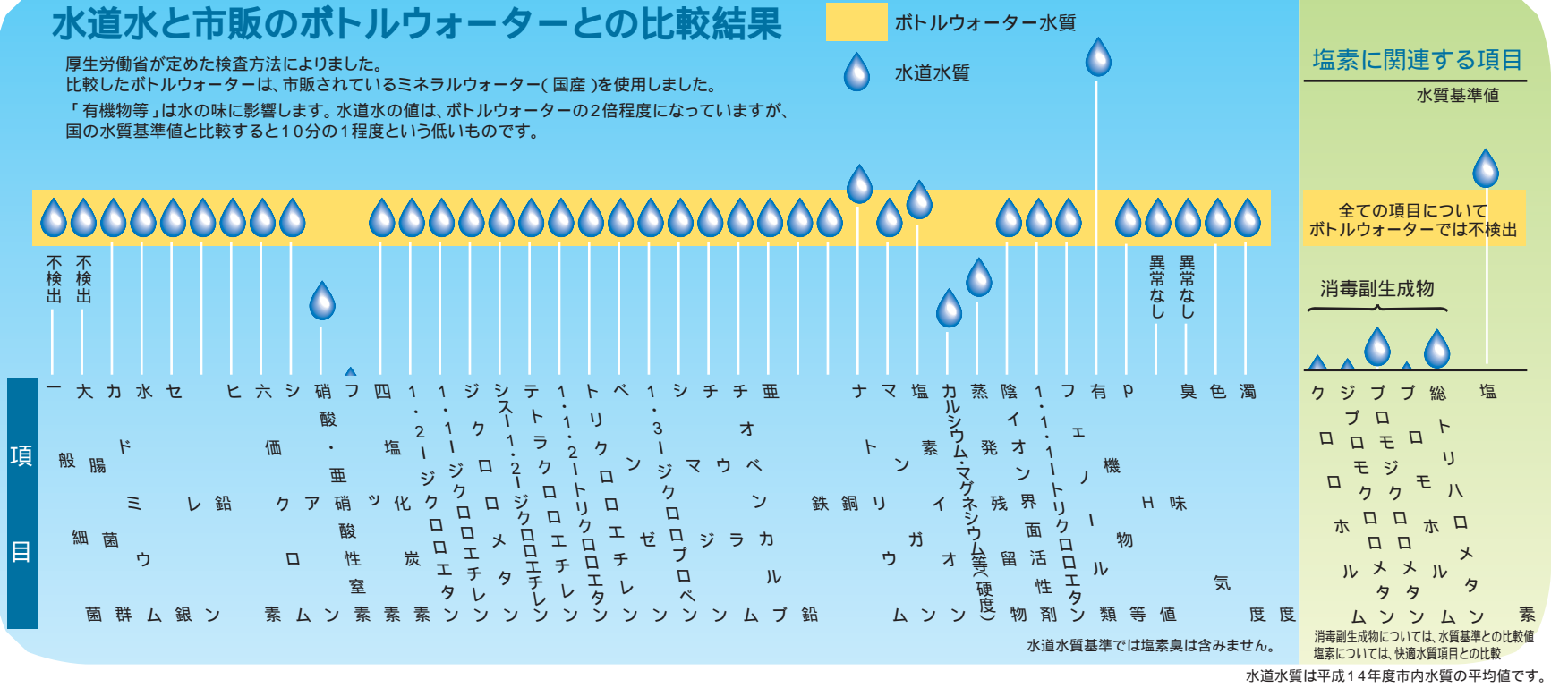
ミネラルウォーター類の水質は、その原水について18項目の規制がかかっていますが、水道水は製造後の水の水質について46項目の規制があるなど、その基準に違いがあります。

今回は、水道局の神崎浄水場でミネラルウォーターについて水道水の46項目の水質基準等をあてはめて比較検査を実施しました。

水道水とボトルウォーター、それほど大きな違いはありません。違うところは、水道水には消毒用の塩素が入っていることです。

水道水と市販のボトルウォーターとの比較結果

厚生労働省が定めた検査方法によりました。
比較したボトルウォーターは、市販されているミネラルウォーター(国産)を使用しました。
「有機物等」は水の味に影響します。水道水の値は、ボトルウォーターの2倍程度になっていますが、国の水質基準値と比較すると10分の1程度という低いものです。



塩素 Q & A

Q: 塩素はなぜ必要なの？ 塩素は害があるの？

表面のアンケートで「水道水に対する不安」の一番に「塩素が有害ではないかと不安」という結果があり、また、塩素と水道水の原料である河川の水に含まれる一部の有機物が結合してできるトリハロメタンという物質に発ガン性があることも不安要因とされています。さらに、いわゆる塩素臭(カルキ臭)について不満をお持ちの方も少なからずおられます。悪質訪問販売業者が市民の皆様の不安をあり、付け込むのもこの塩素の存在を理由とする場合が多くあります。

A1: 塩素はなぜ必要か。

仮に水道水が病原菌で汚染されたとすると、それが私達の生活に与える影響には恐ろしいものがあります。その昔、河水水や井戸水を飲用していたとき、コレラ、チフス等の伝染病がその地域に蔓延した^{まんえん}ことと同じことがおきます。

したがって、じゃ口から出る水道水は確実に消毒されたものでなければなりません。このため、浄水場でつくった水道水がご家庭のじゃ口に届くまでの過程で、水が汚染されることがないように、一定期間消毒効果が持続する塩素消毒が法律で義務付けられているのです。

A2: 水道水に含まれる程度の塩素に害はありません。

WHO(世界保健機関)は、世界各国が水道整備を行ううえで参考とするために、飲料水の水質ガイドラインを出しており、日本の水質基準もこれを参考にしています。WHOは、塩素濃度について水道水1中5mgというガイドライン値を示し、この濃度であれば健康に影響を与えないとしています。

ちなみに、尼崎市の水道水の残留塩素濃度は、0.7mg程度ですので安心していただけます。



A3: 塩素が作り出すトリハロメタンは、発ガン性が指摘されていますが...

トリハロメタンについての水質基準は、「人が一生にわたり水道水を飲み続けた場合でも、発ガンするおそれは10万人に1人であると考えられる値。」という高い安全性のものに設定されています。しかも、尼崎市の水道水のトリハロメタンの値は高度浄水処理したことにより、この水質基準の10分に1程度のもとなっていますので、その安全性は非常に高いものと言えます。

水道水質基準の考え方

自然界にあるものや人間が作り出した化学物質には、人の健康に悪影響を与えるものがあり、これらの物質は、食物、大気、水により摂取されます。

これらの物質には、

これ以下の量であれば健康に影響を及ぼさないと考えられる物質。

いくら少なくとも影響を及ぼすおそれがあると考えられる物質、があります。

難しい言葉になりますが、を「閾値(いきち)があると考えられる物質」、を「閾値がないと考えられる物質」といいます。

水質基準は、基本的に次のような考え方で決められます。

閾値があると考えられる物質

人が一生に渡り水道水を飲み続けても健康に影響を及ぼさないと考えられる値

閾値がないと考えられる物質

人が一生に渡り水道水を飲み続けた場合でも、健康に影響を受けるおそれがあるのは、10万人に1人であると考えられる値

塩素臭(カルキ臭)が気になる場合は!

塩素自体にはそれほど臭いがありません。水道水に塩素臭を感じるの、水道水の原料である河川の水に含まれる有機物と塩素とが反応するためです。高度浄水処理により河川水中の有機物を大幅に減少させることができるようになったため以前より塩素臭は少なくなっています。でも、どうしても気になる場合は、次の方法をお試しください。

一度沸騰させ、冷蔵庫で冷やしてお飲みください。ただし、沸騰させると塩素の消毒効果がなくなってしまうので、お早めにお使いいただく必要があります。水道水に、市販の食卓レモン水などを一滴落としてください。塩素臭がずいぶん気にならなくなります。

